

認知症になっても失われないもの ～感情が作る「その人らしさ」に寄り添う～

認知症の母親を見てきた恩蔵絢子さんは、脳科学者としても母親をみてきました。そして、認知症患者のもつ「感情」の中には、なおも変わらない「その人らしさ」が残っていることを発見します。「脳科学からみた認知症」について、ご自身の経験と科学的知見を踏まえてお話しいたします。

日時：令和7年10月12日（日）

14：00～15：30（受付開始13：15～）

会場：ヴェルクよこすか 6階ホール

横須賀市日の出町1-5（京急横須賀中央駅から徒歩7分）

参加費無料 定員150名（先着・事前申込制） 手話通訳・要約筆記あり

申込先：（公財）横須賀市健康福祉財団

TEL：046-824-3232（受付時間 平日 9：00～17：00）

FAX：046-823-8077（裏面に申込用紙あり）

ホームページ：https://yokosuka-kfz.or.jp

ホームページからのお申し込みはこちら ⇒



おんぞう あやこ
講師：**恩蔵 絢子** 氏

脳科学者(学術博士) 東京大学大学院 特任研究員

1979年神奈川県生まれ。専門は自意識と感情。2007年東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻後期博士課程修了。著書に『脳科学者の母が、認知症になる 記憶を失うと、その人は“その人”でなくなるのか？』（河出書房新社）などがある。2023年1月には母親との家での時間に密着したドキュメンタリー、NHKスペシャル『認知症の母と脳科学者の私』が放映された。



主催：公益財団法人横須賀市健康福祉財団

共催：横須賀市